

2025 年 7 月 2 日

ケイラインローローバルクシップマネジメント株式会社

「OCEANUS HIGHWAY」がバイオ LNG 燃料を使用して運航を開始

～ “K” LINE 環境ビジョン「2050 年 GHG 排出ネットゼロ」への挑戦に向けた取り組み～

当社の管理船である LNG 燃料自動車船「OCEANUS HIGHWAY」（以下、「本船」）は、川崎汽船初となるバイオ LNG 燃料を使用した運航を開始しました。

本船は 6 月 16 日（月）にベルギー・ゼーブルージュ港において、Shell Western LNG B.V.（英蘭ロイヤル・ダッチ・シェル傘下、以下、「シェル社」）より約 500 トンのバイオ LNG 燃料の供給を受けました。

今回シェル社より供給されたバイオ LNG 燃料（液化バイオメタン、LBM）は再生可能な有機廃棄物を原料とし、製造から消費までのサイクルを通じてカーボンニュートラルと見なされます。その上、有機廃棄物からのメタンを回収して燃焼させることで、大気中へのメタンの放出を防ぎ、温室効果ガスの排出をネガティブにすることができます。また、バイオ LNG は主成分がメタンで、欧州全域には電力会社・ガス会社への供給の為に張り巡らされたガスパイプラインが既に存在しており、船用にも既存の LNG サプライチェーンを活用できるため、船舶運航における脱炭素化に向けた有効な手段となります。

尚、今回使用するバイオ LNG 燃料は、ISCC—EU 認証（注 1）を取得しています。

川崎汽船グループの環境に関わる長期指針「“K” LINE 環境ビジョン 2050～青い海を明日へつなぐ～」（注 2）では、国際海事機関（IMO）が定める 2030 年目標である「CO2 排出効率 2008 年比 40%改善」を上回る「同 50%改善」という目標を設定し、さらには 2050 年の目標として GHG 排出ネットゼロに挑戦していくことを掲げております。そのアクションプランとして当社は今後も環境負荷低減が可能な代替燃料導入に技術対応し、目標達成に向け挑戦してまいります。

（注 1） ISCC—EU 認証（国際持続可能性カーボン認証）は、バイオマスや廃棄物を原料とする持続可能な燃料が EU の法的基準を満たしていることを証明する制度です。この認証は、持続可能性と温室効果ガス排出削減の基準をクリアしていることを示しており、RED II に基づいています。

（注 2） 「“K” LINE 環境ビジョン 2050 ～青い海を明日へつなぐ～」

GHG 削減のアクションプランとして、アンモニア・水素燃料といったゼロエミッション燃料、およびバイオ LNG、合成燃料等のカーボンニュートラル燃料の導入を掲げています。

<https://www.kline.co.jp/ja/sustainability/environment/management.html>

【バイオ LNG 燃料を用いて運航を開始した「OCEANUS HIGHWAY」】



【バイオ LNG 燃料供給の様子】

